

湯本運送株式會社 電話三十八番

米川 湯本町

先崎集惠

磐城自治新報

發行日一月十五日(每月二回)
編輯印刷 箱崎義一
兼發行人 箱崎義一
發行所 磐城自治新報社
福島縣石城郡本町
天王崎四番地
電話四〇〇番
紙代 一部十錢送付共
廣告料五號十二字詰一行金五
十錢場所指定金壹圓

人間の横暴時代

地球上には人間以外に無数するのである。即ち此地球の動物が居る、然るに人間上を經營し而して神格を修めた、又そのでなければ人の動物は太古其まゝである。同じく活躍することが人間に神格に近づく程神を知らず、神を掛け皮囊をかへて學べば我々は此世に於て神をもちになつた現代はどうか神に通ふが馬や犬は永久に知り神の道を履み而して人は絶へず手を引いた結果人決して學校へ通ふ様には事を盡さなければならぬ。つまり動物の内でも人間に筆を始すの人は動物の力を動力として飛行機で空を飛んだり潜水艇で海を潜つたりするやうになつた。他は太古其儘の動物であるとのみに專念で之れが即ち人間横暴時代を造る原因でなからぬ。

抑々人間發生の最初は何の動物も異なる所がなく所謂神の時迄も動物園や植物園の様に導かれて居たものになつた。神に導かれて居たものになつた。神に導かれて居たものになつた。神に導かれて居たものになつた。

又手を引く人間は更に智慧を出すと云ふ具合になつて人間は段々神の手から離れて、又そのでなければ人の動物は太古其まゝである。同じく活躍することが人間に神格に近づく程神を知らず、神を掛け皮囊をかへて學べば我々は此世に於て神をもちになつた現代はどうか神に通ふが馬や犬は永久に知り神の道を履み而して人は絶へず手を引いた結果人決して學校へ通ふ様には事を盡さなければならぬ。つまり動物の内でも人間に筆を始すの人は動物の力を動力として飛行機で空を飛んだり潜水艇で海を潜つたりするやうになつた。他は太古其儘の動物であるとのみに專念で之れが即ち人間横暴時代を造る原因でなからぬ。

候補者政戦準備整ふ

無産派 一名出馬

四ツ倉町々會議員

石城郡四倉町の町會議員選挙、横田民彌、小港宗吉、吉田新妻謙、植田万次郎、吉田政友派六名、中立三名、無久大郎の諸氏、政友派一名計廿名、定員十八名、門倉倉次郎、新妻全名町は新議員により町長盛、中野野與、小港平次郎の選挙を執行せらるゝ爲め大和田安太郎、豊田盛次、武藤豊、吉田彌十郎、候補者は左記廿名、長谷川寅次郎、の諸氏、民政派 金成岩次、佐藤熊無産派大衆黨高木高次氏

教員論

昭和四年度である、徳島に於て正直正銘の小學校訓導の痛切なる幻滅を感ぜしめ、このには相違ない一人が二人の不良の爲めに善なる先生迄でが惡口ををあびせられる事は全く同情の教員がある従つて脱線する事になる。

同級教育界にあつても小學校の進路は特に閉塞されて居るからである。

縣下土木業者大會

若松市公會堂に開催

縣下土木業者大會は去る廿八に次ぎ五時より馬場口、清佐寛太郎、消防顧問渡邊長、後藤良消防員及び後援者の表彰式を全町三箇座に於て開催、組員百五十餘名出席し來賓として町長代理比村秀行、若松利惣次、村上六平、鯨岡恩道、各駐在所、本社主幹箱崎義一の諸氏出席小頭鯨岡賢司氏の

湯本消防組

石城郡湯本町消防組は近時著しき發展を見るに至つた事である。現組頭井坂千代松氏は拜命以來専心斯界發展向上のため盡力され組頭代理佐藤徳兵衛、小頭白石義雄、佐藤貢、赤津清五、小井戸庄松、金子庄兵衛、鯨岡賢司、榎田輝雄、石川兼次、高原雄吉、北郷永山善彌の諸氏等能く組頭を補佐し、或は器械具の改善鐵骨火見櫓の建設夜警詰所改築及び増築、一と從て組員も又協力一致幹部を助け何れも任務の遂行に精勵他を凌駕して居る尚ほ全消防組にては春期檢閲終了後優良消防員及び後援者の表彰式を全町三箇座に於て開催、組員百五十餘名出席し來賓として町長代理比村秀行、若松利惣次、村上六平、鯨岡恩道、各駐在所、本社主幹箱崎義一の諸氏出席小頭鯨岡賢司氏の

磐崎村出身の織内平八氏 二等軍醫に任官す

石城郡磐崎村織内宿氏次郎開辭に次ぎ組員及び後援者の表彰式を全町三箇座に於て開催、組員百五十餘名出席し來賓として町長代理比村秀行、若松利惣次、村上六平、鯨岡恩道、各駐在所、本社主幹箱崎義一の諸氏出席小頭鯨岡賢司氏の

湯本横町(古山寫真館隣) 吾妻壽し

靴と靴 高野靴店 湯本上町 志賀清 平町新川町 木村醫院 外科、産科、婦人科 村會議員 四家秀行 磐崎村

<p>湯本横町(古山寫真館隣) 吾妻壽し</p>	<p>靴と靴 高野靴店 湯本上町</p>	<p>志賀清 平町新川町</p>	<p>木村醫院 外科、産科、婦人科 村會議員</p>	<p>四家秀行 磐崎村</p>
--------------------------	----------------------	------------------	----------------------------	-----------------

表面は平靜でも

内實はやさもさ

不言實行の前衛戦

町村會議員候補者の下準備

本郡各町村會議員の改選も来る五六の兩月に渡り執行されるが何れも表面平靜を装へ内實候補者の物色及び再起に對する前衛戦の準備その他選舉氣分が次第に濃厚になつて来たが普選による始めの選舉前に前二回の普選に依り訓練された選舉よりも尙ほ一層考慮を要することは勿論超政黨的に地方自治の確立を切望する

磐崎村議選舉情報 第二回

現し得るや否や即ち

藤原	七名
上湯長谷	六名
西郷	三名
下湯長谷	二名
下舟尾	二名
白鳥	一名
長孫	一名
岩ヶ岡	一名
馬玉	一名
計	廿四名

前號に於て、本紙が報導し上げるのもある、大に注意たる處と大差を見ない、然を要する處である、何れに漸次毛色が濃厚になりつせよ戸別訪問は出來ず、運動ある事實は争はれぬ事、動費に制限はあり、運動員廿四名の議員、普選第一回厄介なれば如何にして候補の顔振れ如何は各自の腦裏明せんとするか、言論戦はに閃滅して、周囲の模様を最も望むべきものなるも果見てからと腹の探り合ひをして之をよく成し得るもの斯くの如くんば理想的配置やつて居る者が多しらしい幾人は疑問とせざるを得ないふべきものである、是故に誰一人として名乗りを、五月初旬にも至らば中は村内有力量者が一致協力之揚げた者もない有様で、或々多事なるべきを思慮するに當らば左して至難の事は立候補が案外小いかも判本紙は飽く迄迅速公明に場はないが、名譽心、權利慾らぬ、そうなる選挙間際合により臨時増刊を以て之を主張する者が多い時に至り一夜造りの立候補を村民諸君に報導する覺悟は中々協調至難である、此處に一大波亂を起してである、若し村民にして現今の情況を見るに左の思はざる番狂はせを演せぬ村内の實情を察し、真に如くである、尙附言するはとも限らぬ、昔から選舉は村を憂ふもので本村の有権者總數千六百餘水物といふ、否低い方へばあるなれば、廿四名の議員票で一割余の棄権と見て一かり流れるとは限らず、逆を左の割合比例を以てせば人六十票平均となる故に普卷く怒濤となつて反對へ押最善の法策たるも、之を實通にては白鳥、長孫、岩ヶ岡

岡、馬玉の四大字は全然當る様子である、中坪にて居る處であらう、中野徳次氏選の見込みなきもので今や小は箱崎鶴松氏、箱崎權十郎の聲を聞かぬでもない。なる大字に基点を置かず大氏、金成仙藏氏三羽巴とな

局より村全体を目標とし只り未だ何れも決定するに有権者數に於て廣きに於て村議になるを名譽とし、情に至らず、迂餘曲折を経て金本村第一である、田場坂では先年補欠選舉の際北郷秀之助氏が断念せば此度公認的に推される處であつたが今

つてくれる人格者を推す必り居るも、各人文句はあるは其も不可能且つ不人氣此上なしなれば立候補するも問題になるや疑はしく、高木源八氏に結着するもので

投票平均点から言ひば一人此所も當選に難色ある處であらう、寺方では瀧徳也氏先の落選で起つ様子なし瀧野木己之吉氏の聲を聞き野木己之吉氏は必ず起つこと言

から買収され一人も議員を有しない字にする様な人もないと思ふ、たゞ村内に於て比較的有産階級揃へ然かも役場の所在地として二人の村議を置くは、村として誰も異議を挿む者はないが他より應援なき時は二人は至難である、然し一人

女に甘んじ指をくわいて居るのも余り意氣地なしである、如何に之を決するかは有力者の力量による、衆人環視の集点となる處で興味ある問題である。

◎白鳥 當字も平均点数に満たない四十票を當選点と見做せば努力次第當選すべく木田周平氏の再選より外に名案はあるまい。

◎西郷 理想的の候補者數よりすれ此所は下湯長谷位の處で理想的には二の名選出を望むるのである、目下の處上坪處である、現村議酒井秀吉

◎下湯長谷 此所も當選に難色ある處であらう、寺方では瀧徳也氏先の落選で起つ様子なし瀧野木己之吉氏の聲を聞き野木己之吉氏は必ず起つこと言

◎長孫 此所も當選に難色ある處であらう、寺方では瀧徳也氏先の落選で起つ様子なし瀧野木己之吉氏の聲を聞き野木己之吉氏は必ず起つこと言

◎岩ヶ岡 死に記せる如く、此の大字は何かと紛争絶えず、難大の字丈目下の處殆んど不明の状態で鈴木忠敬氏は絶對立候補せず、岩並政雄氏亦

◎馬玉 此大字は今迄でさい、幸うじて當選した處である、第

◎湯本町 本郡湯本町の町議改選は來る六月十三日施行定員十八

◎表町 表町は既報の通り井坂千代の両氏再起の意志なきも全

◎榮田 現町議渡邊長作、小野忠三

◎上町 現町議上川才松宮本政造の

◎上湯長谷 兩氏再起は確定的らしく新

◎辰之口 實らしい、現町議若松忠兵衛氏は再起せぬことのこと。

岸清吉氏再起の意なきこと、事現町議石川徳壽氏立候補するに傳へられて居る、長岡義守氏の呼聲あるも余々其意志なきこと云はれて居る

◎横町 小井戸大次氏營業上出馬を見合せること云はれ先づ若松利惣次氏に落つてくらしい。

◎裏町 現町議菅波駒之助氏再起の意なき傳へられるも果してどうか、全鯨岡誠祐氏本人は全く其意なきこと云はれて居るも全人に對し、かくれたる後援者あり期日の切迫と共に立候補することに

出馬確實らしい。

共同主義の金融機關僅かな掛金を纏まる資金湯本無盡をお進め致します

大藏省免許

◎關舟 現町議村上六平氏の再起に決するであらう。

◎水野谷 現町議矢吹在司坂本文治兩氏の内より決するらしい。

◎入山 現町議吉田大貫の兩氏勇退。鯨岡憲道氏松繁在一の兩氏は再立確実と見られ、新た

候補者の顔振れ

入遠野村

石城郡入遠野村には來六月十一日村會議員の改選を施行されるが各大字の顔振れ如何により競争が烈しくなるであろう。

◎大字上根本折笠惣太氏再選有力なるも氏に其意思下の野崎又次郎、折笠市郎の兩氏の内より出馬するらしい。

◎大館眞一折笠竹次郎圓通政直、根本康雄の諸氏數田己之吉、上遠野眞雄、櫛へららるも決定するに至らず。

◎現議員高木菊松氏再選説あり。折笠吉田林之介、上遠野松太郎の兩氏出馬するらしいとのことである。

そろく頭をあけた

教育と人格

川柳たより

世の中が進むにつれ、権利が大きくなり、従つて義務も重くなるべきだが、権利より主張して義務はさつぱり念頭になくなる。世は實際浮華輕兆に流れる、頃來之が教育界にも及んで居る傾向がある、教員も普通の人間である、給料は授業の報酬である、酒も呑め女も買ひ何の憚かる處があるかなんといふ連中があるに至つては實に寒心に堪えない識者の憂ふる處である、別けて義務教育は最も國家に對し重大影響のあるものである、夫を只授業の請け賣りをして事足りりとするに至つては沙汰の限である彼等は只教壇に立つ時斗り洋服を着袴をつけるのでは何の役に立たない、苟も人の師養となるには常に畏敬を受ける人格が必要である、いかゞはしい行爲をなし、卑しい言辭を弄し恥ぢに様の者は到底、兒童の敬服する處なるを得ない、普通の人間として生きたい者は教員となる資格がないのだ、恩給も與へ特之を優待する必要がなくなる。完

文墨の名家

山東京山著

天明年中、歴々たる名家儒子、曲山、詩は西野(市川小左衛門、米庵の父)和歌は干蔭、青海、書家は親和、東江、其筆、淳信、畫家は宋紫石(唐書)浮世畫北尾重政(書もよし)勝川春章角力に谷風、小野川、遊女に花扇、瀧川、俳優に團十郎(五代目、白猿)中村仲藏狂歌師に四方赤良(後ニ獨山人)朱羅漢江、元の木阿彌大屋裏住、鹿津部眞顔宿彌飯盛、錢屋金持、右いづれも己(京山)十五六才の時窓をひらき、内に小石を敷見聞の名家連なり文墨の人々は、亡兄(京傳)の友なりし故、余も又近づきにて容貌今猶目にあり

某校長に與ふ

水もたまらねば月も宿

是等の風骨、元政の筋脈なれば、悍へ家業を譲り、隱居隱居雜費、一月に金二歩つと定めたるを娘より贈る(芝居茶や和泉屋の妻)折々未拂込株金 一四、〇〇〇 常務取締役 八、八〇〇 取締役 二〇、九二〇 酒井秀行 五〇、〇〇〇 大平増藏 二五、〇〇〇 岡部良作 七、九三〇 四家秀吉 七、九三〇 磯上忠太郎 七、九三〇 右提出之書類調査候處相違無之候也 監査役 佐藤八郎 鈴木道治 湯本町 鈴木金三郎 電話十三番 新萬樓 若松幸藏

昭和三年度下半年

第十四回營業報告書

昭和三年度下半年 昭和三十四回營業報告書 貸借對照表 昭和三十四年三月三十一日現在 資産之部 借方 負債之部 貸方 資本金 六〇、〇〇〇 準備金 八、五二五 未拂込株金 一四、〇〇〇 常務取締役 八、八〇〇 取締役 二〇、九二〇 酒井秀行 五〇、〇〇〇 大平増藏 二五、〇〇〇 岡部良作 七、九三〇 四家秀吉 七、九三〇 磯上忠太郎 七、九三〇 右提出之書類調査候處相違無之候也 監査役 佐藤八郎 鈴木道治 湯本町 鈴木金三郎 電話十三番 新萬樓 若松幸藏

貸借對照表

昭和三十四年三月三十一日現在

昭和三十四年三月三十一日現在 資産之部 借方 負債之部 貸方 資本金 六〇、〇〇〇 準備金 八、五二五 未拂込株金 一四、〇〇〇 常務取締役 八、八〇〇 取締役 二〇、九二〇 酒井秀行 五〇、〇〇〇 大平増藏 二五、〇〇〇 岡部良作 七、九三〇 四家秀吉 七、九三〇 磯上忠太郎 七、九三〇 右提出之書類調査候處相違無之候也 監査役 佐藤八郎 鈴木道治 湯本町 鈴木金三郎 電話十三番 新萬樓 若松幸藏

貸借對照表

昭和三十四年三月三十一日現在

昭和三十四年三月三十一日現在 資産之部 借方 負債之部 貸方 資本金 六〇、〇〇〇 準備金 八、五二五 未拂込株金 一四、〇〇〇 常務取締役 八、八〇〇 取締役 二〇、九二〇 酒井秀行 五〇、〇〇〇 大平増藏 二五、〇〇〇 岡部良作 七、九三〇 四家秀吉 七、九三〇 磯上忠太郎 七、九三〇 右提出之書類調査候處相違無之候也 監査役 佐藤八郎 鈴木道治 湯本町 鈴木金三郎 電話十三番 新萬樓 若松幸藏

電話湯本四十七番

◆良品廉賣に勝る商略なし

磐城セメント會社特約店

和洋銅鐵 釜屋商店

確實敏捷は釜屋の生命なり

醬油味噌鯉節

醬油 釀造元

山崎合名會社

營業部 電話一〇番

工場 電話二七番

酒類罐詰食料品

花

大平酒造店

電話五十七番

都

都 醉

赤津 逸郷 元造 醸

磐城小名濱

清世界 吉清水屋 釀造元

小野 普平 電話六番

洋服の御用なら!!

平町の正札堂洋服店

安價で工合のよいことが定評

塩屋 吳服店

電話五十八番

打綿製造所

品川白煉瓦株式湯本支工場

州川愛造

内科 小兒科 (院長毎日診療)

院長 醫學博士 難波 睦

副院長 醫學士 五十嵐 雄二

内科部長 中西 林藏

外科部長 整形外科 藤田 重次

外科部長 醫學士 氏家 憲介

產婦人科 醫學士 柱 重次

產婦人科部長 女子泌尿科 レントゲン科

顧問 醫學博士 五十嵐 雄二

顧問 醫學博士 川添 正道

本院醫事 法學士 岡 蕃

本院醫事 法學士 賀 澤 忠 治

磐崎村役場

村長 酒井 嘉藏

助役 酒井 賢吾

役人 佐藤 八郎

書記 白鳥 宏弑

全 吉田 正次

全 久保 木丈介

全 佐藤 菊松

全 中野 常助

永井 吳服店

内郷村 綴

小野材木店

内郷村

根本 富彌

内郷村 郵便局長

湯本温泉

旅館料理屋

磐城行組合

湯本温泉

若松 條助

湯本町

三井炭礦警務係

三宅 富助

三井炭礦警務係

鈴木 市郎

三井炭礦警務係

佐藤 清三郎

三井炭礦警務係

栗原 森之助

各種最新型靴

電話十六番

山崎 武賴

商業副組合長

湯本町

三井礦山湯本鑛業所

入山探炭株式會社坑務所

湯本消防組

赤津 清五郎

小頭

小井 戶庄松

湯本郵便局長

鯨岡 潔

湯本郵便局長

湯本郵便局長

湯本郵便局長

湯本郵便局長

湯本郵便局長

湯本郵便局長

湯本郵便局長

湯本郵便局長

荒物雜貨砂糖各種

卸 吉田 恭平 店商

各種流行はき物

奥山履物店

湯本三業保險組合

湯本運送株式會社 人事紹介業 先崎集惠